

令和3年度第1回いじめ防止対策推進委員会 概要

- 1 日時 令和3年9月27日(月) 午前10時30分から正午
- 2 場所 京都産業大学 むすびわざ館3階302教室 (Web会議)
- 3 出席者
【委員】6名 (欠席1名)
【府教委】教育監、学校教育課長、高校教育課長、特別支援教育課長 他
【傍聴者】なし
- 4 概要

(1) 前回委員会の概要について

- ※説明：配付資料参照
- ※主な意見なし

(2) 令和3年度京都府いじめ調査（1回目）結果について

<主な意見>

※ ○は委員、●は事務局

- 小中学校の解消率が高いが、高等学校の解消率が低く感じる。理由は何か。
- 例年と比べて特段の変化はなく、見守りが続いている状況が多くなっている。
- GIGA 端末の配置が進み、端末を使った事象の報告があるのか。
- 例年と比べて大きな変化はないが、今後は注意をして見ていかなければならない

ものであると考えている。

○GIGA 端末に関わっては、それをきっかけにリテラシーを含む、教育を進めていかなければならない。教育委員会として重点的に取り上げていくことも必要ではないか。

○アンケートについては記名・無記名も含めて、京都府として一定の効果がありそうなものを提示していくことがあっていいのではと考える。

○未調査の中には、しんどい状況の子どもや親御さんがいる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを動員しての調査もお願いしているが、何とか調査につなげられないだろうか。

●未調査については、できるだけ少なくなるようにしていく必要を認識している。しかし新型コロナウイルス感染症の影響から、家庭訪問等のアプローチが難しくなっている現状である。引き続き課題であるとの認識をもって取り組んでいく。

○未調査については、学校に来ていない状況であり、その本質は何であるかということや学校がアセスメントできているかどうかを重要である。アセスメントベースで考えるという学校のレベルを上げることにもつながると考える。

○新型コロナウイルス感染症に関わるいじめ事案について、配慮や予防はどのように行われているのか。

●現在のところ事実として報告を受けていないが、引き続き注意が必要であると考える。アンケートの記名・無記名については、検討させていただければと考えている。

(3) 重大事態について

<非公開>